

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時 (平成20年) (平成21年) (平成26年)	7年後 6年後 1年後 (平成27年)	8年後 7年後 2年後 (平成28年)	9年後 8年後 3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)				達成率	計画時 (平成20年) (平成21年) (平成26年)	7年後 6年後 1年後 (平成27年)	8年後 7年後 2年後 (平成28年)	9年後 8年後 3年後 (平成29年)				目標値 (平成29年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
東伊豆町 (平成21年度実施)	入谷地区柑橘植栽組合	果樹 柑橘	【果樹】 ・振興品種の栽培面積の割合の増加	20% (0.32ha/ 1.60ha)	100.0% (1.60ha/ 1.60ha)	100.0% (1.60ha/ 1.60ha)	100.0% (1.60ha/ 1.60ha)	100.0% (1.60ha/ 1.60ha)	100.0%	振興品種の栽培面積の割合が100%となった。	【果樹】 ・10a当たり労働時間の削減	246h/10a	131h/10a	131h/10a	131h/10a	137h/10a	105.5%	10a当たり労働時間を47%削減した。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	3,787,443	1,840,000	0	0	1,947,443	平成22年3月30日	土地基盤整備により創設された優良農地にて、1.47haを柑橘産地としての再構築、安定的な柑橘経営の構築を目的として、増加することが出来た。	振興品種の栽培面積の割合が80ポイント増加し、達成率100%となった。また、10aあたりの労働時間を47%削減することができ、達成率105.5%となった。		
静岡市 (平成21年度実施)	新丹谷地区柑橘植栽組合	果樹	【果樹】 ・振興品種の栽培面積の割合の増加	51.6% (10.84ha/ 21ha)	100.0% (26.6ha/ 26.6ha)	100.0% (28.7ha/ 28.7ha)	100.0% (29.0ha/ 29.0ha)	100.0% (21.0ha/ 21.0ha)	100.0%	振興品種の栽培面積の割合が48.4ポイント(18.16ha)増加した。	【果樹】 ・10a当たり労働時間の削減	208h/10a	125h/10a	134h/10a	144h/10a	144h/10a	100.0%	10a当たり労働時間を30.8%削減した。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	10,688,313	4,996,000	0	0	5,692,313	平成22年3月31日	平成21年度に改植が実施された園地(4.63ha)については優良品種が良好に管理されている。	振興品種の栽培面積の割合が48.4ポイント(18.16ha)増加し、達成率100%となった。10aあたりの労働時間は、30.8%削減され、達成率100%となった。		
静岡市 (平成21年度実施)	矢部地区柑橘植栽組合	果樹	【果樹】 ・振興品種の栽培面積の割合の増加	18.6% (6.15ha/ 33ha)	81.5% (26.9ha/ 33ha)	100.0% (33.9ha/ 33.9ha)	100.0% (34.0ha/ 34.0ha)	100.0% (33ha/ 33ha)	100.0%	振興品種の栽培面積の割合が81.4ポイント(27.85ha)増加した。	【果樹】 ・10a当たり労働時間の削減	253h/10a	125h/10a	134h/10a	144h/10a	144h/10a	100.0%	10a当たりの労働時間は、144時間で、43.1%削減された。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	6,422,172	2,911,000	0	0	3,511,172	平成22年3月31日	平成21年度に改植が実施された園地(3.44ha)については優良品種が良好に管理されている。	振興品種の栽培面積の割合が81.4ポイント(27.85ha)増加し、達成率100%となった。10aあたりの労働時間は、43.1%削減され、達成率100%となった。		
牧之原市 (平成22年度実施)	上庄内原第1植栽組合	畑作物・地域特産物 (茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・10a当たり労働時間を直近値の14%以上削減	110.9h/10a	18.7h/10a	25.0h/10a	25.8h/10a	67.2h/10a	194.7%	平成29年度の受益地での労働時間は25.8h/10aであった。	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・契約取引量指数を直近値より7以上増加	0.00%	0.00%	11.4% (24,414kg/ 213,198kg)	14.6% (30,680kg/ 209,181kg)	35.2% (74,000kg/ 209,000kg)	41.4%	平成28年度より契約取引を始めた。今後、契約取引数量を増加させるよう調整を行った。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	5,669,550	2,791,000	0	0	2,878,550	平成23年3月25日	基盤整備事業を実施した圃場へ植栽を行った。計画に沿った確かな事業実施により作業環境が向上した。計画的な肥培管理により、順調に茶樹が生育しており、成果が期待される。	計画に基づき圃地の整備及び茶樹の植栽が行われ、乗用型管理機の導入が可能になることで労働時間の削減が図られた。契約取引量指数は未達成であったが、販売先と契約取引が始まっており、二番茶、秋冬番茶など契約取引先からの需要取引については、昨年度より契約取引を始めた。今後、契約取引量の拡大を図っていく。		

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考				
			計画時 (平成20年) (平成21年) (平成26年)	7年後 6年後 (平成27年)	8年後 7年後 2年後 (平成28年)	9年後 8年後 3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率		計画時 (平成20年) (平成21年) (平成26年)	7年後 6年後 (平成27年)	8年後 7年後 2年後 (平成28年)	9年後 8年後 3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他								
																										成果目標の具体的な内容①	成果目標の具体的な実績①	成果目標の具体的な内容②	成果目標の具体的な実績②
牧之原市 (平成22年度実施)	上庄原第2 植栽組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・10a当たり労働時間を直近値の14%以上削減	110.9h /10a	19.0h /10a	16.7h /10a	15.4h /10a	67.2h /10a	218.5%	平成29年度の労働時間は、15.4h/10aであった。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・主要品種指数を直近値の2%以上削減	100.00%	36.50%	41.9% (6,075kg/ 14,489kg)	43.9% (5,926kg/ 13,494kg)	44.0% (85a/ 193a)	100.1%	平成29年度の生産収量による主要品種指数は43.9%であった。	耕種作物小規模土地区整備 優良品種系統等への改植・高接	3,683,081	1,763,000	0	0	1,920,081	平成23年3月25日	基盤整備事業を実施した圃場へ植栽を行った。計画に沿った確かな事業実施により作業環境が向上した。計画的な肥培管理により、順調に茶樹が生育しており、成果目標を達成した。	計画に基づき圃地の整備及び品種の導入が行われ、乗用型管理機の導入が可能になることで労働時間の削減が図られた。 今後は、事業を活用して導入した品種を活用して需要に応じた茶の生産が期待される。	
島田市 (平成27年度実施)	初倉阪茶業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・契約取引量指数を直近値より7%以上増加	43.2% (160,000kg/ 370,451kg)	60.0% (180,800kg/ 301,231kg)	70.3% (229,000kg/ 325,460kg)	68.5% (227,800kg/ 332,309kg)	80.0% (300,000kg/ 375,000kg)	68.8%	契約取引量227,800kg 契約取引量指数68.5% 達成率68.8%であった。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・産物1kg当たりの労働時間を直近値の2%以上低減	0.0220h/kg (8,166.5h/ 370,451kg)	0.0219h/kg (6,613h/ 301,231kg)	0.0226h/kg (7,379h/ 325,460kg)	0.0205h/kg (6,821h/ 332,309kg)	0.0197h/kg (7,400h/ 375,000kg)	65.2%	産物1kg当たり労働時間0.0205h/kg 達成率65.2%であった。	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	237,600,000	91,888,000	0	0	145,712,000	平成28年2月29日	契約取引量(227,800kg)は昨年より減少し、契約取引指数68.5%となり、目標(80.0%)を下回った。荒茶1kg当たりの労働時間については、年間労働時間は削減できたが、年間の荒茶生産量が減少したため、0.0205h/kgとなり、目標(0.0197h/kg)を達成することができなかった。	契約取引量指数は未達成であったが、販売先との契約取引が始まっており、二番茶、秋冬番茶など契約取引先からの需要がある荒茶の増産に取り組むことで、契約取引量の増加が期待される。 また、労働時間は削減されているものの目標は未達成であったが、茶園の集積・集約や需要のある荒茶の増産に取り組むことで、生産効率の向上が期待される。	
島田市 (平成27年度実施)	谷口原茶業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・契約取引量指数を直近値より7%以上増加	42.4% (75,000kg/ 176,766kg)	48.8% (78,337kg/ 160,425kg)	77.6% (114,500kg/ 147,422kg)	81.2% (119,800kg/ 147,523kg)	77.5% (145,500kg/ 187,800kg)	110.5%	契約取引量119,800kg 契約取引量指数77.5% 達成率110.5%であった。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・産物1kg当たりの燃費を直近値の2%以上低減	0.9119% (161,200% /176,766kg)	0.7991% (128,200% /160,425kg)	0.8567% (126,300% /147,422kg)	0.7287% (107,500% /147,523kg)	0.7721% (145,000h/ 187,800kg)	131%	産物1kg当たり燃費0.7287% 達成率131%であった。	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	79,920,000	26,812,000	0	0	53,108,000	平成28年2月29日	契約取引量(119,000kg)は昨年より増加し、契約取引指数81.2%となり、目標(77.5%)を上回った。荒茶1kg当たりの燃料量の低減については、0.7287% /kgで目標(0.7721% /kg)を達成することができた。	施設整備により荒茶品質の安定と向上が図られ、契約取引の増加に結びついている。 また、燃費の良い荒茶加工機を導入したことで使用する燃費が削減され生産コストの低減が図られている。	
牧之原市 (平成27年度実施)	ハイナ ン農業協同組合	かんきつ(温州みかん)	【果樹】 ・現状の全栽培面積の内、産地構造計画における振興品種の栽培面積の割合が3.0%以上増加	76.6% (2,338a/ 3,051a)	78.9% (2,407a/ 3,051a)	82.3% (2,510a/ 3,051a)	84.5% (2,579a/ 3,051a)	95.3% (2,917a/ 3,060a)	42.2%	振興品種の改植が進んだが、年度目標には届かなかった。 H29振興品種の面積は2579a	かんきつ(温州みかん)	【果樹】 ・高品質みかんの差別化、ブランド化による高単価での販売で、受益面積10a当たりの販売額を3%以上増加させる。	361千円 /10a (110,204千円/3,051a)	290千円 /10a (88,514千円/3,051a)	338千円 /10a (103,026千円/3,051a)	281千円 /10a (85,720千円/3,051a)	416千円 /10a (127,350千円/3,060a)	-145.5%	販売単価は上昇したが、規格外の発生割合が多く出荷量が減少した。 H29販売額は、85,720千円。	耕種作物共同利用施設整備 集出荷貯蔵施設	37,476,000	17,350,000	0	0	20,126,000	平成27年11月27日	・老木園の振興品種改植の推進を行い、計画時のH25年度に比しH29年度までに241a改植されたが、大規模な改植は抜根、圃地整備も必要で負担となり、生産者の高齢化もあって改植に踏み切れず、当初計画より進まなかった。目標達成率42.2% ・高品質みかんの差別化で販売価格が向上したものの、生産時期を通して異常気象にみまわれ、みかんの落果、着色不良果の割合も近年に多く、出荷量の落ち込みによって、販売金額も伸び悩んだ。目標達成率-145.5%	振興品種の栽培面積割合は、7.9ポイント増加したが、達成率は42.2%であった。生産者の高齢化もあり改植が進まなかったことから、年間計画に沿った改植の推進を図る。 受益面積10a当たりの販売額は、281千円/10aで達成率は-145.4%であった。販売単価は上昇したが、気象の影響が大きく、出荷量が減少、販売額が減少したこと、着色不良果の割合も近年に多く、出荷量の落ち込みによって、販売金額も伸び悩んだ。目標達成率-145.5%	

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名) ①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名) ②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時 (平成20年) (平成21年) (平成26年)	7年後 6年後 1年後 (平成27年)	8年後 7年後 2年後 (平成28年)	9年後 8年後 3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)				達成率	計画時 (平成20年) (平成21年) (平成26年)	7年後 6年後 1年後 (平成27年)	8年後 7年後 2年後 (平成28年)	9年後 8年後 3年後 (平成29年)				目標値 (平成29年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
掛川市 (平成27年度実施)	遠州夢映農業協同組合	野菜 (トマト)	【野菜】 当該品目の10aあたり収量を23%以上増加	17,204kg /10a (341,436kg /198.46a)	-	20,104kg /10a (717,382kg /356.83a)	20,573kg /10a (753,780kg /366.4a)	21,200kg /10a (771,060kg /363.7a)	84.30%	野菜 (トマト)	【野菜】 当該品目の単位面積又は単位収量当たりの販売額を15%以上増加	7,856,570 円/10a (155,921,486円 /198.46a)	-	9,190,012 円/10a (336,722,050円 /366.4a)	8,095,417 円/10a (296,616,066円 /366.4a)	9,038,816 円/10a (328,741,735円 /363.7a)	20.2%	販売額は296,616,066円 10aあたり8,095,417円	耕種作物共同利用施設整備 低コスト耐候性ハウス及び附帯施設	505,440,000	234,000,000	0	0	271,440,000	平成28年3月7日	今年度は秋の天候不順の影響と、軟化玉の発生で現在までの収量は伸び悩み、84.3%と目標達成できなかった。この経験やハウス内データを今後の管理に活かして気象の変化に対応した安定生産技術の確立を目指す。	軟化玉の発生は10aあたり収量・販売額のいずれの指標にも影響を与えているため、県農林技術研究所による発生条件の解明や対策技術の確立、また高度環境制御技術習得のための学習グループの支援などにより、目標達成を支援する。		
浜松市 (平成27年度実施)	丸浜柑橘農業協同組合	果樹 (主に柑橘)	【果樹】 輸向け出荷量の増加割合を現状の数字から40%以上増加する。	21.6t	4.0t	10.2t	31.4t	30.3t	112.6%	果樹 (主に柑橘)	【果樹】 丸浜柑橘連果樹産地協議会において奨励されている品種面積の割合を50.0%から65.0%まで増加させる。	50.0% (7,194a/ 14,378a)	59.3% (8,725a/ 14,702a)	61.9% (8,795a/ 14,211a)	65.7% (8,615a/ 13,114a)	65.0% (9,286a/ 14,265a)	104.6%	目標達成率15.0%に対して15.7%となり目標達成した	耕種作物共同利用施設整備 集出荷貯蔵施設	159,840,000	65,006,000	20,000,000	74,834,000	平成27年9月24日	輸出の目標については、前年度試験的に出荷したモンゴルに8t輸出し、東南アジアの香港・マレーシア・シンガポールなどを中心に出荷することにより目標達成することができた。また、奨励品種の目標についても、新規就農者を中心に極早生種・早生種から奨励している片山を中心に改植を進めていることから目標達成となった。	輸向け出荷量の増加割合は、45.3ポイント増加し、達成率113.2%となった。奨励されている品種面積の割合は、15.7ポイント増加し、達成率104.6%となった。			

87.7%

都道府県平均達成率	87.7%	総合所見	10事業中6事業については、目標を達成しており、十分な事業効果が得られた。 茶の優良品種系統等への改植・高接の1事業については、生産計画の見直しをするとともに、契約販売拡大に向けた支援を行っていく。 茶の農産物加工処理施設の1事業については、消費者ニーズに対応した茶製品への荒茶原料の生産を行うとともに、向上の稼働の効率化を行うよう指導していく。 果樹の集出荷貯蔵施設の1事業については、振興品種の改植を計画的に推進するとともに、気象状況に即した生産者への適切な管理指導を行っていく。 野菜の低コスト耐候性ハウスの1事業については、軟化玉発生対策について県の農業技術研究所と調査を行うとともに、天候不順や病害虫の発生予察の現場への周知を徹底するなど、対策を講じる。
-----------	-------	------	--

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。